

授業改善プラン

地域名	北総教育事務所	学校名	匝瑳市立野田小学校
-----	---------	-----	-----------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

○令和5年度全国学力・学習状況調査では、算数の「記述式」の出題において、平均正答率が県より下回っており大きな課題が見られた。令和6年度の全国学力・学習状況調査では「記述式」正答率が昨年度に比べて7.4ポイント上がった。問題別に見ると、無解答率も下がり、記述する児童が3.4ポイント増えた。自分の言葉で表現しようという意識は高まってきたが、相手に伝わるよう、的確に表現することは苦手としている児童が多い。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

○広げ深める過程でユニバーサルデザインを取り入れて、見方・考え方を友達と伝え合う活動を支える手立てを工夫すれば、児童の思考力を高めることができるであろう。
○まとめあげる過程でユニバーサルデザインを生かして、思考を自分の言葉で振り返るための手立てを工夫すれば、児童の表現する力を育てることができるであろう。

3. 具体的な実践

○理論研修 「通常の学級における支援」～授業UD・「共有化」に係る、手立てについて～
講師：北総教育事務所 特別支援アドバイザー
○学年ごとに目標を設定したノート指導
○広げ深める過程、まとめあげる過程にユニバーサルデザインを取り入れた授業実践
・仮説検証授業を全職員が一度ずつ展開し、より効果的な工夫を模索する。
・校内研修において、実践状況について情報共有する。
○第2回要請訪問での研究授業
○全校で週に1度、短作文を書く時間を設ける。

4. 成果

○ペア発表から全体発表へと段階を踏んで発表活動をしたり、タブレットを活用して共有化を図ったりしたことにより、友達の考えを理解し、自分の考えをより深めることができた。
○発表の仕方の型や、友達の発表を聞く際の視点を示したことにより、相手に伝わるような説明をしようと意識することができた。
○「授業の振り返りシート」を活用することにより、わかったこと、自分の考えの変化、今後の学習への課題や疑問について、自分の言葉でまとめることができる児童が増えた。

◆担当指導主事から

○匝瑳市立野田小学校では、思考力や表現力の育成を目指し、言語活動や協働的な学びを授業に取り入れて児童の学力向上に努めている。検証授業の中では、多くの児童が主体的に発言し、互いの考えを交わす姿が顕著で、成果を上げている様子が見られた。